

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスばるびしゃもん		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～ 令和6年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	97	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～ 令和6年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 11月 29日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広いスペースや地域の環境資源を使った療育をしていること	花や木の実、農作物から季節を感じることができるように育てるものや収集するものなどを決めている。また、収集してきたものを使って工作をするなど、イメージや思いを作りやすいように工夫している	来年度からは農作物の充実が図れそうなので、利用児さんたちに計画を立ててもらい季節の野菜や果物を作っていく、クッキングや制作に活用していく
2	小集団で利用されているお子さんが主体的に活動を組み立てることができることや、友達同士の関わりを密に経験することができる	遊びは制作から運動系の遊びまで幅広くやっている。その中でも指導員と1対1の関わりではなく、できる限り友達との関わりを作ることができるように遊びを設定している。時に指導員が仲介しながら円滑なコミュニケーションを経験できるように支援している	話し合いによって何かを決めていく機会をさらに多くしていく 子どもたちが自分たちで遊びを作り、実践、振り返りを行う機会を作っていく
3	年に数回保護者の方にも参加していただけるイベントを行い、保護者の方と一緒に関わり方のポイントを抑えることや、保護者の方同士がつながっていく機会を作っていること 普段の療育もオープンにしているため、保護者の方にもお子さんと指導員の関わりが見えやすいこと	開かれた事業所にするために、いつでも保護者の方の見学や参加ができるようにしている 相談等は急なものでも対応している 送迎時に毎回保護者の方にはその日の様子や課題の確認、関わり方の助言等をするようにしている	年2回以上の参観日を作っていくようにしていく 事業所の移転に伴い、相談室からお子さんの様子を見ながら話しができるようになります(お子さんからは保護者さんの様子が気にならないような構造になります)

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	登録人数が多く、隔週でのご利用をいただいていること	・数年前に2事業所を統合したこと ・同法人の通所児童発達支援事業所から放課後等デイサービスの受け皿として利用される方が一定数おり、放課後等デイサービスの性質上契約を終了される方が少ないこと	・人員の確保をして、開所だけのメリットのある報酬が担保されていれば事業所を増やす
2	立地的に天候不良(特に雪)の場合に通所が困難	・送迎を行っていない ・高地にあるため雪が積もりやすくノーマルタイヤでの通行が困難	・交通の便が良い場所への移転
3			